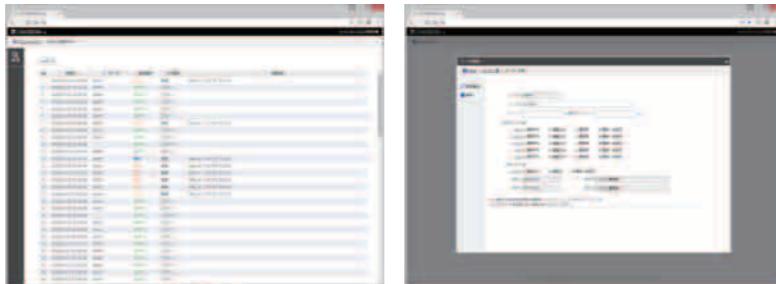


■ セキュリティ

- ID、パスワードによりログイン。
- ユーザの権限を、**更新・削除可／更新可／閲覧のみ／使用不可**の4種類に設定可能。
- 操作履歴を管理できます。



■ 多様なカスタマイズ

- 収集、受入の業務フロー管理
- 館独自の帳票出力
- バーコード、ICタグによる管理
- ホームページ編集
- 来館者端末コンテンツ編集
- インターネット公開アクセス解析
- 電子透かし
「acuagraphy PictureMark」の利用

電子透かしとは、あるデータに対して人間が感覚で識別できない形で情報を埋め込むものです。著作権保護が必要な画像に電子透かしを埋め込むことで、画像の不正利用の抑止に効果を発揮することができます。

■ 動作環境

サーバ環境	
OS	Redhat Linux ES 6/7 Microsoft Window Server 2008R2/2012/2016
CPU	2.0GHz以上(3GHz以上を推奨)
メモリ	4GB以上(8GB以上を推奨)
HDD	必須空き容量 100GB以上 ※データベースソフトや画像ファイル数により異なります。
DBMS	PostgreSQL 9 以上

クライアント環境

クライアント環境	
OS	Microsoft Windows 8/8.1/10 MacOS ※ネットワークの構成によりエディションに指定があります。
CPU	1.0GHz以上(2.0GHz以上を推奨)
メモリ	2GB以上(4GB以上を推奨)
ブラウザ	Windows Internet Explorer11 FireFox Google Chrome MacOS Safari FireFox Google Chrome ※HTML5が有効であること
その他	Microsoft Excel 2010 以上 Adobe Reader DC ※帳票の形式により異なります。

※記載の商品名は各社の商標または登録商標です。
※上記以外の環境についてはお問い合わせください。

 **waseda**
System Development

早稲田システム開発株式会社

 **0120-149-223**

受付時間／平日 9:30～18:00

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-40-17 Foresight高田馬場 4階
TEL.03-6457-8585 FAX.03-6279-3333

2018
Concept
&
Features

 **waseda**
System Development

III I.B.MUSEUM v12

収蔵品管理システム



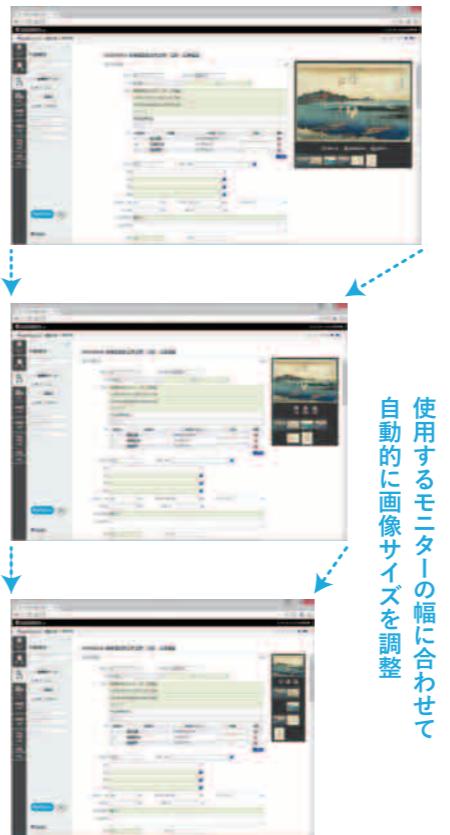
★NEW★ 端末の多様化へ対応するレスポンシブ・デザインを採用!

自館内に蓄積する情報をそのままチカラにする、という思想。

**情報管理業務そのものを支援し、そのデータを活用するための機能を強化。
博物館の情報力を集約し、館運営に活かすために。**

収蔵品は、それにまつわる情報が添えられて、初めて価値が伝わるもの。だとすれば、情報開示は、博物館にとって社会貢献姿勢を示す上での入り口とも言えます。しかし、館内に溢れる情報は、資料の属性を記録する「目録的な情報」から、これまでの管理を記録を蓄積する「カルテ的な情報」まで、極めて多岐にわたります。整理するだけでも手いっぱい、使いこなすまでには至らない館も多いのが実情です。

I.B.MUSEUMシリーズは、25年近くにわたり、博物館の情報整備をサポートしてきました。この間、400館近くに導入され、延べ1,000人を超える現場学芸員の要望に応える機能を提供してきましたが、最近では「データを管理するだけでなく、使いこなすための支援機能が欲しい」という声が非常に増えています。そこで、「情報を館のチカラに変える」という発想のもと、支援・活用機能の強化を図りました。



モニター幅に応じて適切に表示。
入力欄も画像表示も快適です。

ワイド画面時代に対応したレスポンシブ・デザイン

画面デザインの全面リニューアルを実施。
PCモニターの主流となった16:9のワイド画面に対応し、
画像を大きく表示できるようになりました。
また、従来の比率(4:3など)のモニターでは画像サイズを自動調整。
それぞれ最も見やすいレイアウトに自動的に変更される
レスポンシブ・デザインを採用しています。

「今どこにいるか」「どこに移動するか」がひと目で分かる機能ボタン

現在地を含めたナビゲート役の機能ボタンを集約し、性質の似た機能をグルーピング。
ひと目で分かるように見やすくレイアウトしました。

複雑で面倒な作業になりがちな一括処理時の使い勝手もさらに向上

大量のデータをまとめて登録・更新する場合の操作を大幅に改善。
グッとシンプルに、分かりやすくなりました。

I.B.MUSEUM 主な業務支援・情報活用機能

入力・データ登録

個人のPCスキルに頼ることなく、継続的にデータを更新し続けられる環境を確保する。

文字情報の登録支援

- タイピングを極力減らすための入力アシスト機能を多数用意。
- 文字数制限を解消しつつ、自由に追加できる項目体系を実現。
- 大量の情報を一気に流し込む一括登録機能を装備。

画像情報の登録支援

- ファイルをクリックするだけで画像を登録。複数画像の一括登録にも対応。
- 登録枚数は無制限で、部分写真や組作品にも対応することが可能。
- サムネイル自動生成機能、マスク画像の自動バックアップ機能を搭載。

出力・情報公開

DBに登録した収蔵品情報を、手間をかけることなく市民と共有する体制を築く。

カード/ファイル出力支援機能

- 作成した資料カードをそのままプリントアウトすることが可能。
- 検索結果一覧をMicrosoft Excel形式のファイルに出力。
- さまざまな帳票のスタイルに応じたカスタマイズが可能。

情報公開・活用支援

- インターネットWebサイトや来館者向け端末での公開に対応。
- データのアップロードは、公開したい資料をそのまま指定するだけ。
開示用データを別途作成する必要がなく、公開・非公開の選別も可能。

情報検索

日常業務を細かくスピードアップすることで、業務の流れ全体を円滑化する。

基本検索機能

- 全文検索のほか、条件に応じた多様な検索方法を用意。
- 紋り込みや追加検索も容易。
- 検索結果は文字／画像／文字画像の一覧形式での表示に対応。

検索支援機能

- 検索条件をそのまま保存し、次回以降は素早い再検索が可能。
- 検索結果リストの保存も可能。
- 検索結果の表示項目は、ユーザごとに独立して設定することが可能。

情報連携管理

収蔵品情報だけでなく、関連するデータやナレッジまで、「館のチカラ」を統合的に管理する。

履歴情報管理

- 出品・修復・所蔵歴、参考文献なども管理。
- 入出庫の情報を出品・利用歴と連携して管理。
- 寄託者や親密館の住所録への応用も可能。

人物・名簿管理

- 人物情報と資料情報を統合的に管理。
- 寄託者や親密館の住所録への応用も可能。

関連ファイル管理

- システム登録街の資料や人物に関するデータ(ファイル)を関連付ける一元管理が可能。

III I.B.MUSEUM
v12
新機能